



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 東京汽船株式会社

上場取引所 東

コード番号 9193 URL

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齊藤 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長兼経理部長

(氏名) 伊藤 英津生

TEL 045-671-7713

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,368	△4.5	433	△45.1	676	△37.0	404	△52.9
23年3月期第3四半期	9,815	2.3	789	91.2	1,073	56.2	858	11.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 389百万円 (△49.5%) 23年3月期第3四半期 771百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	40.63	—
23年3月期第3四半期	86.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,629	16,318	71.9
23年3月期	21,799	16,130	70.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 15,559百万円 23年3月期 15,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	20.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,332	△5.5	587	△38.7	836	△36.1	465	△53.0	46.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	10,010,000 株	23年3月期	10,010,000 株
② 期末自己株式数	52,892 株	23年3月期	52,648 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	9,957,230 株	23年3月期3Q	9,958,841 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)のわが国経済は、東日本大震災により影響を受けた企業活動等が緩やかに回復しつつあるものの、雇用情勢は依然として厳しい状態が続き、欧州の財政不安による世界的な景気停滞、急激な円高進行等により予断を許さぬ状況が続いております。

こうした環境下、当社グループの業況は、主力の曳船事業を始め、旅客船事業、売店・食堂事業が震災の影響、景気の停滞を反映して売上高が減少し、グループ全体の売上高は9,368百万円(前年同期比4.5%減)となりました。利益面では営業利益が433百万円(前年同期比45.1%減)、経常利益が676百万円(前年同期比37.0%減)、四半期純利益は404百万円(前年同期比52.9%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりです。

曳船事業

曳船事業セグメントは、東日本大震災、タイの洪水、円高進行などの影響による生産活動や輸出の停滞が響いて曳船作業対象船舶の東京湾への入出港数が自動車専用船、コンテナ船、タンカー等を中心に減少し総作業数は減少しました。

第3四半期に燃料油価格調整金の増加はあったものの、売上高は6,967百万円(前年同期比0.8%減)となりました。利益面では売上高が減少する一方、燃料油価格の上昇、修繕費増加、船員保険料率改定に伴う船員関係の人件費増大により、営業利益が499百万円(前年同期比24.0%減)となりました。

旅客船事業

旅客船事業セグメントは、カーフェリー部門においては各種ツアー企画等を実施し、航路のPR活動に努めるなど積極的な営業活動を展開しましたが、厳しい状況が続き、バス・乗用車等の観光客はあいかわらず低迷し、車両、旅客ともに減少しました。

横浜港の観光船部門は秋口に乗船人数が増加したものの、4～12月の累計では第1四半期の不調を取り戻せず乗船人数は減少しました。一方交通船部門は新規に調査船と運航委託事業が加わったため増収となりました。両部門併せての売上高は6.4%の減少となりました。

この結果、売上高は1,818百万円(前年同期比11.1%減)となり43百万円の営業損失(前年同期は121百万円の営業利益)となりました。

売店・食堂事業

売店・食堂事業セグメントは、団体客については多彩な新企画コース提案による食事・買物客の誘致を、また個人客に対しては地場特化メニュー、地域限定商品の開発などを行い集客、販売に努めましたが、売上高は582百万円(前年同期比22.1%減)にとどまり、営業損失22百万円(前年同期は10百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、169百万円減少し21,629百万円となりました。これは主に現金及び預金や長期預金が374百万円増加し、船隊整備に伴う建設仮勘定が160百万円増加しましたが、船舶の減価償却が進んだことで646百万円減少し、税率変更の影響もあり繰延税金資産が103百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ、358百万円減少し5,310百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が94百万円増加し、未払法人税等が395百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、188百万円増加し16,318百万円となりました。これは主に四半期純利益が404百万円計上されましたが、剰余金の配当を199百万円実施したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.2%増加し71.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

景気停滞、円高基調継続に加え、イラン情勢の動き次第で燃料油価格の高騰が懸念されることから、厳しい業況が続くものと見込んでおります。

業績予想につきましては、平成23年11月1日に公表いたしました連結業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,229,198	7,503,731
受取手形及び売掛金	2,439,858	2,356,751
商品	27,143	30,452
貯蔵品	89,764	107,911
繰延税金資産	127,007	28,150
その他	321,183	533,912
貸倒引当金	△21,483	△11,524
流動資産合計	10,212,671	10,549,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	324,085	340,540
船舶(純額)	4,968,449	4,321,785
土地	1,311,489	1,310,442
その他(純額)	40,457	205,445
有形固定資産合計	6,644,481	6,178,214
無形固定資産		
	19,917	44,193
投資その他の資産		
投資有価証券	1,386,716	1,357,527
関係会社株式	1,741,850	1,695,623
繰延税金資産	268,427	263,625
その他	1,573,410	1,588,521
貸倒引当金	△48,298	△47,254
投資その他の資産合計	4,922,106	4,858,043
固定資産合計	11,586,506	11,080,451
資産合計	21,799,178	21,629,838

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	839,549	933,923
短期借入金	1,656,537	1,670,336
未払法人税等	397,005	1,052
役員賞与引当金	40,000	26,250
賞与引当金	219,698	54,853
その他	147,654	376,390
流動負債合計	3,300,445	3,062,806
固定負債		
長期借入金	137,871	110,203
退職給付引当金	1,199,437	1,137,881
役員退職慰労引当金	394,002	355,834
特別修繕引当金	353,601	374,703
繰延税金負債	166,881	144,370
資産除去債務	20,781	20,829
負ののれん	94,841	84,524
その他	1,302	19,807
固定負債合計	2,368,718	2,248,154
負債合計	5,669,164	5,310,960
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,500	500,500
資本剰余金	75,357	75,357
利益剰余金	15,097,863	15,303,232
自己株式	△38,974	△39,089
株主資本合計	15,634,746	15,839,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△24,204	△55,832
為替換算調整勘定	△197,892	△225,028
その他の包括利益累計額合計	△222,097	△280,861
少数株主持分	717,364	759,739
純資産合計	16,130,013	16,318,877
負債純資産合計	21,799,178	21,629,838

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	9,815,245	9,368,737
売上原価	7,420,132	7,371,952
売上総利益	2,395,113	1,996,784
販売費及び一般管理費		
販売費	252,051	213,464
一般管理費	1,353,941	1,350,184
販売費及び一般管理費合計	1,605,993	1,563,649
営業利益	789,120	433,134
営業外収益		
受取利息	8,171	7,506
受取配当金	61,808	46,722
負ののれん償却額	24,611	10,316
持分法による投資利益	183,633	161,882
その他	31,393	41,278
営業外収益合計	309,619	267,707
営業外費用		
支払利息	23,065	21,325
貸倒引当金繰入額	800	—
その他	1,576	2,980
営業外費用合計	25,441	24,306
経常利益	1,073,297	676,535
特別利益		
固定資産売却益	393,800	37,563
特別修繕引当金戻入額	27,297	—
受取保険金	—	11,289
特別利益合計	421,097	48,852
特別損失		
投資有価証券評価損	77,347	—
固定資産売却損	64,000	17,479
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,224	—
特別損失合計	146,571	17,479
税金等調整前四半期純利益	1,347,823	707,909
法人税、住民税及び事業税	402,218	172,319
法人税等調整額	21,924	87,835
法人税等合計	424,142	260,154
少数株主損益調整前四半期純利益	923,680	447,755
少数株主利益	65,175	43,239
四半期純利益	858,505	404,515

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	923,680	447,755
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△80,089	△31,149
持分法適用会社に対する持分相当額	△72,503	△27,136
その他の包括利益合計	△152,593	△58,285
四半期包括利益	771,087	389,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	708,354	345,751
少数株主に係る四半期包括利益	62,732	43,717

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,021,679	2,045,313	748,251	9,815,245	—	9,815,245
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,920	52,841	4,036	63,798	△63,798	—
計	7,028,599	2,098,155	752,288	9,879,043	△63,798	9,815,245
セグメント利益	657,049	121,310	10,760	789,120	—	789,120

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計 (注)
	曳船事業	旅客船事業	売店・食堂事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,967,733	1,818,344	582,659	9,368,737	—	9,368,737
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,905	42,529	3,372	51,807	△51,807	—
計	6,973,639	1,860,874	586,031	9,420,544	△51,807	9,368,737
セグメント利益又は損失(△)	499,459	△43,361	△22,962	433,134	—	433,134

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。